

平成24年度関東倶楽部対抗茨城第1ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 23倶楽部 ・ 138名)

期日：5月21日(月)

場所：金砂郷カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	寺田 稔	鹿島の杜	増田 百紀雄	浅見	池田 貴久	ワンウェイ		
2	8:09	櫻木 博	金砂郷	内田 英雄	フレンドシップ	小野 賢司	セベ・パレステロス		
3	8:18	忍田 徹夫	栗橋国際	武井 清	かすみがうらOGM	荒井 眞一	筑波		
4	8:27	金澤 正幸	白帆	柳田 賢治	筑波学園	柳澤 利明	イーグルポイント	中村 守	水戸グリーン
5	8:36	染谷 健市	扶桑	鈴木 清治	猿島	松山 康明	桜	大川 厚志	玉造
6	8:45	寺田 智	ニッソー	田村 眞	ダイヤグリーン	佐藤 仁	ザ・レイクス	藤方 修三	霞台
7	8:54	佐藤 則夫	岩瀬桜川	菊池 新平	大洗	鎌田 秀夫	鹿島の杜	松崎 孝文	ワンウェイ
8	9:03	杉崎 久實	フレンドシップ	萩原 忠和	栗橋国際	金田 昌富	筑波	藤本 正美	筑波学園
9	9:12	大輪 広明	水戸グリーン	逆井 英雄	猿島	関 秀勝	玉造	本城 誠	ダイヤグリーン
10	9:21	橋谷田 恵二	霞台	志村 幹夫	大洗	岡戸 行雄	浅見	黒沢 登美夫	金砂郷
11	9:30	江尻 崇夫	セベ・パレステロス	岩田 勝	かすみがうらOGM	西谷 正司	白帆	平田 毅彦	イーグルポイント
12	9:39	鈴木 由蔵	桜	山下 勝紀	扶桑	山寄 明	ニッソー	大久保 政行	ザ・レイクス
13	9:48	長谷川 克巳	岩瀬桜川	高梨 勇	鹿島の杜	宇佐美 正仁	金砂郷	風見 甚造	栗橋国際
14	9:57	横山 正一	白帆	宇留野 彰	水戸グリーン	池田 和夫	桜	片岡 誠一	岩瀬桜川
15	10:06	平本 行	ダイヤグリーン	村岡 清一	浅見	坂巻 光信	フレンドシップ	石毛 文雄	かすみがうらOGM
16	10:15	末永 謙三	筑波学園	柳橋 一之	扶桑	渡辺 和行	玉造	吉田 裕	ザ・レイクス
17	10:24	鈴木 泉	大洗	坪井 隆	ワンウェイ	櫻本 實	セベ・パレステロス	齋藤 哲也	筑波
18	10:33	市原 澄彦	イーグルポイント	高柳 兵吾	猿島	鈴木 俊夫	ニッソー	金井 文和	霞台

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	8:00	寺田 裕之	鹿島の杜	水池 祐	フレンドシップ	竹石 要佑	筑波		
20	8:09	木村 利治	水戸グリーン	梅田 伸明	玉造	秋池 隆伸	霞台		
21	8:18	池上 直樹	浅見	小川 直康	セベ・パレステロス	務台 英雄	白帆		
22	8:27	日暮 俊明	扶桑	幸田 恭典	ニッソー	中山 茂樹	岩瀬桜川	長南 幸司	ワンウェイ
23	8:36	酒井 博昭	栗橋国際	関口 浩美	筑波学園	菅野 智次郎	猿島	宇梶 一	ダイヤグリーン
24	8:45	煙山 弘	金砂郷	木内 登喜雄	大洗	後藤 栄治	かすみがうらOGM	松下 義晴	イーグルポイント
25	8:54	村山 大	桜	柴田 博文	ザ・レイクス	鎌滝 正三	鹿島の杜	奥田 堅太郎	セベ・パレステロス
26	9:03	岡田 裕之	筑波学園	山崎 一雄	桜	加藤 達也	霞台	矢口 武之	浅見
27	9:12	吉高神 佐俊	栗橋国際	平野 岳史	イーグルポイント	岩本 和彦	玉造	花井 俊則	岩瀬桜川
28	9:21	海老沢 将之	ワンウェイ	岡田 一夫	かすみがうらOGM	大澤 信行	水戸グリーン	海老原 克守	ニッソー
29	9:30	千葉 順一	大洗	大部 正美	金砂郷	金田 崇宏	筑波	加園 浩	扶桑
30	9:39	池田 誠	ダイヤグリーン	細谷 昭久	フレンドシップ	小形 勝利	白帆	因泥 洋	猿島
31	9:48	鈴木 昇	ザ・レイクス	武井 豊	鹿島の杜	中田 勉	栗橋国際	出山 泰弘	水戸グリーン
32	9:57	藤井 洋一	ダイヤグリーン	池上 直仁	浅見	高根 武雄	かすみがうらOGM	進藤 祥史	扶桑
33	10:06	高田 康弘	ザ・レイクス	菊池 竜文	ワンウェイ	長屋 竜夫	筑波	長谷川 仁	猿島
34	10:15	今井 正岳	霞台	野崎 浩之	金砂郷	倉田 正良	白帆	増渕 努	桜
35	10:24	海野 雅久	岩瀬桜川	小金沢 朋広	フレンドシップ	飯泉 祐二	筑波学園	木村 仁	玉造
36	10:33	後藤 浩	セベ・パレステロス	紺谷 三大	大洗	橋本 征道	イーグルポイント	山田 英憲	ニッソー

競技委員長 滝口 史男

平成 24 年度 関東倶楽部対抗茨城第 1 ブロック予選競技

開 催 日 : 5 月 21 日(月)

開催コース: 金砂郷カントリークラブ

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、競技者が金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
- (2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。
陰悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。
本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーンの芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。

3. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

- a. 排水溝
- b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
- c. 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
- d. 距離計測のための埋め込み式表示板

5. 電磁誘導カート用の 2 本のレール

2 本のレールの全幅をもってカート道路とみなす。球がこのカート道路の上にある場合、競技者は規則 24-2b(i)の救済を受けなければならない。

6. コースと不可分の部分

樹木に巻きつけたり、密着させてあるもの

7. ホールとホール間の白杭

1 番と 6 番ホール間の白杭を結ぶ線を越えて、現にプレーしているホール以外のコース上に止まった球は、アウトオブバウンズの球とする。

注 意 事 項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コイン(20 球)を限度とする。

競技委員長 滝口 史男